

## 女性防災推進委員会 活動報告書

報告日時 令和4年1月5日(水)

報告者 茨城県 永倉喜代

- 活動日時 令和3年12月20日(月)午後1時30分～午後3時00分
- 活動場所 茨城県つくば市豊里交流センター 2階 小会議室
- 活動目的 地域防犯連絡協議会における防災知識の向上
- 活動内容 豊里駐在所連絡協議会において、地域住民・防災士として出席。  
今回、駐在所の警察官からペットについての要望があった為、講話を行った。
- \* 「避難アクションガイドブック」の中のペットに関する話をを行った。
  - \* 茨城県では、避難所へ同行できるペットは決められており、基本「犬・猫」であり、齧歯類は含まない。
  - \* 茨城県には、特定犬8種があり、飼育は定められている方法があること。  
(果樹盗難避けで、シェパードなどを畑の中に放し飼いをしている農家あり)
  - \* 犬に関して狂犬病予防接種やワクチン接種が必要であり、首輪に鑑札・狂犬病予防注射済票・迷子札などを必ずつけていなければならないこと。  
(茨城県は狂犬病予防注射接種率が全国平均より低い  
全国平均 71.3% 茨城県 62.9% 令和元年度厚労省データ)
  - \* 避難所においては、環境省で定められているのは「同行避難」が原則である。  
世話は飼い主が行うこと。しかし、避難所の中には入れないこと。  
その理由として、臭い・毛・鳴き声(吠え声)・アレルギーなどがあること。
  - \* 補助犬とペットの違い。補助犬は「同伴避難」であること。  
(茨城県には18頭の補助犬がいるが全て盲導犬。補助犬は障害を持った方々の身体の一部としての役目があるので、「同伴避難」を行う)  
自治会・地域住民に、ペットとの違いを判ってもらうことが大切。

反省 ぎょうせい出版の「避難所アクションガイドブック」を使用したのが、一般向けであり、茨城県独自の内容をもっと詰めて話しても良かったのかもしれない。

